

地域医療連携室だより

令和 7 年 5 月春 ・ 第 41 号

大阪市立十三市民病院

病院長 挨拶

平素より地域医療機関の皆様には格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

大阪市立十三市民病院は、現在、「救急・がん・感染症」を 3 つの柱として、診療の拡大を進めております。この 2 年間で少しずつではありますが、患者数も回復し、以前の状態に戻りつつあります。

令和 6 年度の救急車搬送件数は 1000 件超となり、がん診療に関しては、令和 7 年 4 月に**大阪府がん診療拠点病院**の指定が更新され、**緩和ケア病棟**もオープンし、がんの予防（がん検診）から診断・治療および緩和ケアまで幅広く対応できる病院となりました。また、感染症診療については、結核診療の継続はもちろんのこと、昨年冬の新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスの同時流行時も、コロナ専門病院時の経験や設備を活用し、一般診療と並行して適切に対応を行いました。



病院長 倉井 修

このような状況下で、令和 5 年度外来機能報告の結果、令和 7 年 3 月から**紹介受診重点医療機関**の指定を受けました。そのため、紹介状なしで受診した患者さんからは 7,000 円以上の定額負担（初診時選定療養費）を徴収することが義務付けられることとなります。これまで以上に病診連携を進めてまいりたいと考えておりますので、是非、地域の先生方からのご紹介をいただけますと幸いです。定額負担は 7,700 円を予定しており、本年 9 月 1 日から開始いたします。

令和 7 年度は「迅速に対応する医療」を病院目標とし、紹介・逆紹介を含めた地域医療機関の皆様との連携をさらに強化していきたいと考えておりますので、今後ともよろしく願い申し上げます。

新副院長 挨拶



整形外科

坂和 明

この度、令和 7 年 4 月 1 日付けで大阪市立十三市民病院副院長を拝命いたしました整形外科の坂和 明(さかわ あきら)です。平成 21(2009)年 4 月にリハビリテーション科部長・整形外科副部長として赴任し、令和 3 年 4 月に整形外科部長となり、今回はこのような大役を仰せつかりました。

私の専門はリウマチ・関節外科ですが、当科には脊椎外科や手の外科・骨軟部腫瘍の専門医も在籍し、上肢・下肢の各種外傷も多く手掛けております。整形外科の幅広い分野に対応可能であると自負しておりますので、救急患者も含めご紹介いただければ幸いです。

当院のコロナ専門病院としての役割は令和 5 年 5 月に終了しておりますが、まだまだ当院が急性期総合病院であるとの認識をしていただいていない先生もおられるのではないのでしょうか。今後も急性期病院であり続け、急性期病院として生き残るためには、紹介患者さんを中心とした外来診療と、救急患者さんの積極的な受け入れが必要です。

そのためにも地域の先生方との連携カンファレンスや各種勉強会、このような発信の場を通じて“顔の見える”地域連携を推進し、当院の診療可能分野にご紹介いただけるよう努めるとともに、対応可能な救急患者を積極的に受け入れていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

新呼吸器内科部長挨拶

やぎゅう きょうこ
柳生 恭子



この春より着任いたしました柳生 恭子と申します。大阪市立総合医療センター 呼吸器・感染症科より参りました。専門は呼吸器感染症です。

マンパワーの関係で、重症患者様や特殊な疾患（癌、間質性肺炎、膠原病関連肺疾患など）への対応は難しい場合もありますが、地域の登録医の先生方と連携し、必要に応じて適切な専門病院へご紹介できる体制を整えてまいります。

患者様に寄り添い、安心していただける診療を心がけてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

専門分野	呼吸器感染症
認定資格	日本内科学会認定総合内科専門医 日本呼吸器学会指導医 日本呼吸器内視鏡学会専門医

新小児科副部長挨拶

あらはた ゆきえ
荒畑 幸絵



令和 7 年 4 月より大阪市立十三市民病院小児科に着任いたしました、荒畑 幸絵と申します。

出身は東京都で 2003 年に北海道大学を卒業しました。

初期研修を国立病院機構東京医療センター、国立成育医療研究センターで行い、千葉県総合病院国保旭中央病院で一般小児科、国立精神神経医療研究センターで小児神経の研修をいたしました。

前職は国際医療福祉大学成田病院小児科で一般小児、小児神経を担当しておりました。一般小児を基盤にてんかん、睡眠関連疾患の診療など、少しでも地域の先生方のお役に立つことができましたら幸いです。よろしくお願い申し上げます。

耳鼻咽喉科医長

かわい ひろこ
河相 裕子



令和 7 年 4 月より大阪市立十三市民病院耳鼻咽喉科医長として着任いたしました、河相 裕子と申します。平成 23 年に大阪市立大学を卒業し、そのまま同大学で研修医を修了しました。

その後、同大学耳鼻咽喉病態学教室に入局し、同大学病院、南大阪病院で臨床業務に従事し、令和 2 年より大阪公立大学付属病院の病院講師として臨床業務の他に学生教育にも携わってまいりました。大学病院では嗅覚味覚、鼻副鼻腔手術を中心に診療をしておりましたが耳鼻咽喉科は赤ちゃんから高齢者の方まで患者様の層が広く、症状も多岐に渡るため、上述の分野以外にも広く対応することが必要となります。

少しでも地域の先生方や患者様のお役に立てるよう頑張っておりますので、お気軽にご紹介ください。よろしくお願いいたします。

外科・消化器外科医長

しまだ やすたか
嶋田 泰尚



本年 4 月より十三市民病院 外科・消化器外科医長として着任致しました、嶋田 泰尚と申します。

香川県の出身で、平成 26 年に兵庫医科大学医学部を卒業し附属病院で初期研修を積んだのち、兵庫医科大学上部消化管外科に入局し、学外の関連病院で研鑽を積んで参りました。

その後、兵庫医科大学病院外科学講座の教授選を経て医局員が一新されるにあたり医局をいったんは離れる形となり、以後は先輩医師の伝手で南大阪病院 外科医員として勤め、前職としては大阪掖済会病院 外科医員として勤務ののち、現職に就かせて頂いた次第です。

専門は消化器外科を中心に、ヘルニア、胆のう炎、腸閉塞などの腹部良性疾患の手術加療の経験も多数ありますので、いち外科医として地域に根ざした医療の提供にあたり微力ながら貢献して参りたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

整形外科医長

はま しゅんぺい
濱 峻平



初めまして、令和 7 年 4 月から十三市民病院整形外科に赴任致しました、濱 峻平と申します。大阪府河内長野市出身で、平成 23 年に秋田大学を卒業し、初期研修を終了後、大阪市立大学整形外科教室に入局致しました。複数の関連病院勤務後、大阪市立大学大学院に入局し、大学院在学中に新潟手の外科研究所病院に 1 年間国内留学致しました。

新潟手の外科研究所病院では手の外科の基礎を学び、基本的な診察の仕方、手術適応や手術のいろはを教えて頂きました。十三市民病院でも主に手の外科を担当させて頂いております。手の骨折をはじめとした手の外傷、手のしびれや痛みなどでお困りの方がいらっしゃれば、ご紹介して頂ければ幸いです。まだまだ未熟で至らないことも多々あるかと存じますが、地域の皆様に貢献できるように日々精進致します。何卒宜しくお願ひ致します。

眼科医員

さかい あつし
坂井 淳



令和 7 年 4 月より大阪市立十三市民病院眼科に着任いたしました、坂井 淳と申します。

平成 26 年に和歌山県立医科大学医学部を卒業、その後平成 28 年に大阪市立大学眼科に入局いたしました。実は十三市民病院眼科には令和元年 4 月から 1 年間在籍しており、その後令和 2 年に大阪公立大学大学院(視覚病態学専攻)入学・令和 6 年同大学院卒業、本年 3 月まで同大学病院の病院講師を務めてまいりました。

大学ではぶどう膜炎・甲状腺眼症をはじめとした炎症疾患に対する専門外来に従事し、また硝子体出血・網膜剥離といった網膜硝子体疾患に対しましても、手術加療の研鑽を積んでまいりました。

先生方の日々の診療におきまして、治療等に悩まれることがあるかもしれません。少しでもお悩みの症例がございましたら、当科にお気軽に紹介いただけますと幸いです。よろしくお願ひいたします。

産婦人科医員

すえかね とも き
未包 智紀



令和7年4月より大阪市立十三市民病院産婦人科（医員）として着任いたしました未包 智紀と申します。福岡大学医学部を卒業し、大阪公立大学医学部附属病院に初期研修医として働き、平成30年からは大阪公立大学大学院臨床医科学専攻の博士課程へと入学し、4年間にわたり『胎児超音波胎児発育不全における胎児の血流との相関に関する検討』の研究を行ってまいりました。大学院卒業後は、済生会千里病院、PL病院にて産婦人科医として診療に従事してきました。

地域の医療に少しでも貢献して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

産婦人科専攻医

ひだ まゆ
飛田 真由



令和7年4月より大阪市立十三市民病院産婦人科（専攻医2年目）として着任いたしました、飛田 真由と申します。

令和4年に徳島大学医学部を卒業し、大阪市立総合医療センターで初期研修医として2年間働き、その後は引き続きセンターで産婦人科専攻医1年目として産科6ヶ月・婦人科6ヶ月と診療に従事してきました。

まだまだ産婦人科医として駆け出しの身であり、ひとつひとつの症例に真摯に向き合い、患者さんに寄り添った医療を提供できるよう励んでいく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携室 新室長

川口 なぎさ

この4月より、十三市民病院地域医療連携室長として赴任いたしました、川口 なぎさと申します。私たち十三市民病院は、地域の医療機関の皆様とともに、患者様により良い医療サービスをお届けすることを目指しています。

当院では4月14日に新たに緩和ケア病棟を開設しました。緩和ケア病棟では、心温まるケアを提供し、患者様とご家族が安心して過ごせるよう、多職種でサポートしています。また、医師とともに緩和ケア認定看護師が、身体と心の痛みの緩和に努め、“その人らしく”過ごせるための支援を行っています。

毎年、多くの方にご参加いただいている市民や医療機関向けの講座やセミナーを、今年度も開催する予定です。これからも地域の皆様と共に、医療の質を高めるための取り組みを進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



インスタ連載中。



<https://www.osakacity-hp.or.jp/juso/>

編集 〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-12-27

大阪市立十三市民病院 地域医療連携室

代表電話：06-6150-8000 直通電話：06-6150-8067

